

# つくいだより



平成 30 年 5 月 18 日 発行  
神奈川県立津久井養護学校  
学校だより No. 2

若葉の緑が鮮やかな季節になりました。新しい年度になって一ヶ月が過ぎ、クラスの雰囲気も馴染んできました。毎日、子供たちの元気な声が響いています。今月は、各学部の紹介と、4月の行事についてお伝えします。行事にご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

## 小学部



4月5日の入学式、男児2名、女児1名、計3名の新入生を迎え、9名の児童と8名の担任でスタートしました。

小低（1, 2年生）5名と、小高（3, 4, 5年生）に別れました。新入生在校生共に、新しい環境にもすっかり慣れて、毎日元気に楽しく過ごしています。今年も、児童一人ひとり、それぞれの係活動や給食の配膳・後片付け、日直の仕事等、意欲的に頑張っています。授業や行事を通して、様々な経験を積み、たくさんのことを吸収してほしいと思います。そのために担任みんなで取り組んでいきます。（菊地原）

## 中学部



（八木）

中学部は2名の新入生を迎え、新たな年度がスタートしました。今年度は1, 2年生で1クラス、3年生で1クラスを基礎集団とし、さらに学部全体での授業とも組み合わせて活動していきます。音楽の授業では「茶摘」の手遊びを、友だちとタイミングよく手を合わせる場面も見られました。集団でのかかわりの中で、一人ひとりがさらに自分の力を発揮していけるよう取り組んでいきたいと思います。1学期は中学部遠足（あいかわ公園）、学年ごとの校外学習もあります。日々の学習を積み重ね、身につけたものを校外でも活かし、楽しく活動していきたいと思います。

**毎日、元気に楽しく過ごしています！！**

## 高等部



つくいんピック接戦でした！

フレッシュな新入生11名を加え、総勢34名で今年度の高等部はスタートしました。最初は新しい環境や仲間達の中で緊張気味だった生徒たちも、学校行事のつくいんピックや高等部全員で活動する新入生歓迎会やコース・作業・生徒会等のオリエンテーションなどを経験していくうちに次第に緊張も解けて、学校生活を楽しめるようになってきたようです。5月には、1・2年生の遠足（あいかわ公園）、3年生知的修学旅行（大阪方面）6月には、3年生肢体修学旅行（東京ディズニーシー）、1年生校外学習（高尾スターレーン）などの学校外に出て活動する行事が目白押しです。色々な事を体験する中で仲間との絆を深め、学校生活をより楽しいものにできればと思います。（遠藤）

## 避難訓練

4月24日（火）、火災を想定した避難訓練を実施しました。

児童・生徒一人ひとりが、「おさない・かけない・しゃべらない・もどらない（おかしも）」を守り、落ち着いて避難することができました。また、煙を吸わないようハンカチで口を押さえて避難する姿に、意識の高さが感じられ、消防署の方にも講評で褒めていただきました。

消火訓練では、津久井消防署の方にご指導いただき、消火器の操作方法と消し方のコツを教わりました。代表の児童・生徒は、「火事だぁ〜」と大きな声で火事を知らせる役を担い、訓練に参加しました。

今回、奥畑自治会の皆様にもご参加いただきました。どうもありがとうございました。

今後も防災学習に取り組んでいきます。（西岡）

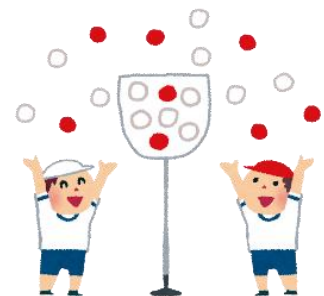


## つくいんピック

今年度も天候に恵まれ、気持ちのよい青空の下「つくいんピック2018」が開催されました。

赤白各団の団長による選手宣誓から始まり、気持ちを一つに一致団結して、それぞれ競技に臨みました。小中学部の「みつけてゴーゴー」、高等部の「わくわくサーキット」「選抜リレー」どれも盛り上がりましたね。全校種目の「玉入れポン」では、保護者の皆様も参加していただき、ありがとうございました。どの競技でも、「がんばれー！」と応援の音が響き、他学部、他学年、そして保護者の皆様との交流を深め、津久井養護学校全体が一つになったように感じました。

今年度も、つくいんピックという行事を通し、津久井養護学校の絆や結束力が深まったように感じます。この絆や結束力を、これからも津久井養護学校のパワーにしていければと思います。（佐藤）



## 神奈川県障害者スポーツ大会に高等部生徒が参加しました！

4月29日（日）、小田原市陸上競技場にて「第12回神奈川県障害者スポーツ大会」が行われました。本校からは高等部6名の生徒が参加し、青空のもとさわやかな汗を流してきました。

自己記録の更新を目指す人、メダルの獲得を目標にする人…、その時のベストを尽くそうと懸命に走る姿に胸をうたれました。

競技の合間には本校卒業生である先輩と談笑したり、同じ競技に参加する他市の生徒とコミュニケーションをとる姿が見られたりと、ただスポーツを楽しむだけでなく、スポーツを通じた交流も生まれ、有意義な時間を過ごせたことと思います。

遠い会場までの送迎、また一緒に応援していただいたご家族の方々にも感謝申し上げます。参加した選手の皆さん、おつかれさまでした！（櫻井）

